

○どこでも積極的にあいさつができる子 ○個性を生かし主体的・対話的に課題解決する子 ○進んで思いやりのある行動がとれる子

# 北大和小だより 10月号

令和2年9月30日  
大和市立北大和小学校  
〒242-0001 大和市下鶴間685  
ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-kiita/>



## 「つぶやく」

「暑さ寒さも彼岸まで」というように熱中症を心配していた夏があつという間に秋に変わった感じです。体調を崩しやすい季節です。今年は特に体を冷やさず対応したいところです。

さて、コロナウイルスの関係で忘れがちですが、新しい学習指導要領に則った教科書が使用されています。クラスの仲間と対話をしながら学び合う中で、基本的な力を身に付けていくことが求められています。近距離での対面の対話が難しい現状に、先生方も苦勞しています。

そこで、それを逆手にとって、先生方に提案していることがあります。それは授業中に児童が「つぶやく」ことです。先生の話やクラスの仲間の発言に、「ああ」「なるほど」「同じです」「ちょっと違うかも」とつぶやいて反応することを認めていくというものです。関係ない私語や相手を否定するつぶやきは反則です。正しく反応することが広まることで授業内容に集中し、学習への参加意識が高まります。クラスが「つぶやく」雰囲気慣れてくると「なるほど」に「○○ということかな」とか「ちょっと違うかも」に「○○じゃないかな」など反応に加えて考えが出てきます。これを更に認めることで対話の下地作りが行えると考えました。

児童のアンケートに発表が苦手という子が多くみられます。今までを振り返ると「静かに話を聞きましょう」と伝えるのが当たり前でした。普段の練習もないのに発表だけ「はい、どうぞ」です。意見を伝える際に緊張するのも仕方ありません。授業で児童が「つぶやく」ことで毎回の授業で積極的に聞くことや、考えを持って発表することの個人練習がたくさんできるのではと思い、機会があるごとに、このことを「つぶやく」ことにしました。 校長

=====  
まだコロナウイルスの脅威がありますが、9月には先日PSメールでご案内した通り学校はレベル1の対応(感染対策を進めながらもできる範囲を広げる)に移行し、今月からは児童による清掃活動も可能な範囲で戻してまいります。

レベル1だからこそ「手洗い」「3密防止」「思いやりディスタンス」で「しっかり、ゆっくり」

### 【学校サポートの非常勤職着任】

=====  
県費のコロナ対策の補正予算により、校務支援、児童支援の非常勤職任用の話がありました。市内の他校では保護者ボランティアの方に任用を勧めているケースもありますが、本校ではとても多くの方にボランティア参加していただいていたこともあり、今回の話は任用の上限があるため、卒業生の学生ボランティアの方やお子様が卒業されている元PTA関係の方を中心に声をかけてさせていただきました。その中で9月までの方が1名、9月末からの方が4名おります。清掃・消毒作業を含め、校務支援、児童支援を午前中に担っていただいております。

### 【保護者ボランティアについて】

PTA運営委員会だよりにありましたように今後は「文化委員会」の活動で消毒清掃のボランティアを企画いただいております。先生方の放課後の負担を考えると大変有り難く思います。